

歳をとるほど、**1年が早くなる**。実感ですよ。…よね。って言っても、わたしと保護者の皆さんと一緒ににはできませんが、年々、1年が過ぎていく速度が増しているように思います。

そのことで、先日次のような話を聞きました。「例えば10歳にとっては、1年は今までの時間の1/10です。でも、50歳にとっては1/50です。1年がだんだん小さな数字になっていくわけです」。



高岡保育園、河高保育園の年長さんや来年度本校に入学する園児を招いて「なかよしランド」が開かれました。招待した1年生は、ずっと前から大張り切りでプレゼントの用意をしたり、お店の準備をしたり、初めの会や終わりの会のリハーサルをしたり。小さな子にも、誰かのお世話をしよう、楽しませてあげたいという心があります。その心は、どこで生まれるのでしょうかね。みんなで作っている心の中のなかよしランドで生まれるのかもしれませんが。



絵本「ペンギンのヘクター」の紹介。みんなに褒めてもらって自信をもてるようになったヘクター。お互いの良さを認め合うことは素敵なこと。相手のやさしさに気づいたら、ありがとうの感謝の気持ちを伝えましょうという、昇降口に掲示されている「ありがとうの木」の紹介でしめくりました。学校にいらっしゃったら、南っ子のやさしさを覗いてくださいね。

なるほど、人生という分母が大きくなればなるほど数字は小さく、つまり1年は短いものになっていくんですね。ですから、年老いたわたしなど一日一日をより大切にしたいなあと思うのですが、つつい流されていく毎日です。

感覚の短さ長さには関係なく、子どもにとっても大人にとっても1年は大切なもの。どうすれば一日を大切にすることになるのかなあと考えます。完全な答えはありませんが、今日することを見つけておくというのも一つの答えだと思っています。そう思って付け始めた“学校日記”も5年になります。今日を振り返りながら、明日は〇〇さんに声を掛けよう、〇〇先生と□□について相談しよう・・・と、毎日、退勤する前の10分ほどで書いています。

せわしい年の瀬が近づく今、残り少ない今年の毎日を大切にしたいなあと思います。



3年生が、いずみ会の方と一緒に**豆腐作り**に挑戦。上手に教えていただきました。楽しそうに活動していました。にがりを入れて徐々に固まり始める豆腐を見て、まだかな、まだかな。そのまま食べても、「おいしい！」。



今年も大久保雅先生に来ていただいて**絵手紙**を作りました。大久保先生もおっしゃっていましたが、子どもの発想は面白い。個性あふれる絵手紙を、年賀状として普段お世話になっている方々にお配りします。



埼玉県所沢市からの**新しい仲間**。2年生井上颯人(はやと)さん。地区は桜台。よろしくお祈りします。